



災害協定を締結

県測協・地質協と鹿児島市

技術力で迅速対応

した。

意を新たに

県測量設計業協会(安永幸信会長)、県地質調査業協会(岩田秀樹理事長)と鹿児島市(森博幸市長)は5日、同市役所で大規模災害時における支援協力に関する協定を結んだ。写真。主な協定内容は、被災状況の報告・調査や技術的な助言など。官民の連携を強化し、各会員らの豊富な専門知識と技術力で迅速な災害対応を目指す。

市役所で行われた締結式では、森市長と団体長らがそれぞれ協定書に押印。梅雨や台風時期を前に森市長は「日本各地で大規模な災害が頻発している。防災体制の向上を図るため、市民が安心安全に暮らせるまちづくりに期待を込めた。」

災害発生時には、最初に現場に入って復旧に向けた調査等を行う建設コンサルタントや地質業。安永会長(国土技術コンサルタント)は「インフラの維持管理に従事している立場として、身の引き締まる思い。日ごろから技術の研さんに努めており、十分対応できると自負している」とし、岩田理事長(アジアテック)は「危機管理体制の充実が重要になっている。一致団結して災害対応に臨みたい」と決意を新たに